

# 安楽寺だより

第2号

びょうどう ひきま  
廟堂に跪ずきて

なみだ ぬぐ  
涙を拭い

いこつ はい  
遺骨を拝して

はらわた た  
腸を断つ

覚如上人 「報恩講私記」

## 22組真宗門徒入門講座始まる

第2号  
紙面内容

- 2面 八事墓地、四月から改修
- 3面 別院での法話
- 4面 仏教豆知識(第二回)



小川組長の挨拶

一月二十三日、名古屋別院内の教務所を会場に第二十二組お待ち受け「真宗門徒入門講座」第一回が開催されました。二十二組の各寺院(二十三ヶ寺)からご門徒の皆様六十一名と住職・若院が集まり「宗祖親鸞聖人に遇う」をテーマに講義と語り合いが行われました。

「聖人のご生涯に学び、聖人と真向かいになり、自分の生き方を問うて頂きたい」との小川組長の

編集発行 安楽寺住職 吉田和良  
名古屋市瑞穂区井戸田町一の八〇  
電話 〇五二(八四一)二六〇六

挨拶の後、参加者は今日に到るまでの聖人のご遠忌の歴史についての講義を真剣に聞き入りました。

安楽寺のご門徒の中から三名の皆様がこの講座にご参加いただきました。「教えを聞く場に座る」ことがいかに大切かを学んで頂くことが願われています。

講座は五月二十九日まで五回にわたって行なわれます。



教務所議事堂での講義

真宗門徒になるための本

大垣教務所発行 ご希望の方進呈

## 佛佳会総会が開催される

二月十四日、安楽寺会館に於いて平成二十二年年度総会が開催されました。全員でお勤めした後、責任役員の黒田さんから、

「耐震補強工事など寺の保全・修理が出来ますのも、会員の皆様のご理解・ご協力のお陰と感謝致しております」などのお礼と経過報告をいただき、会計報告・監査報告のあと、全員の拍手でご承認を得ました。心より厚く御礼申し上げます。

これからも、一人でも多くのご門徒の皆様が佛佳会にご入会いただきますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。



佛佳会総会のお勤め

## 八事霊園墓地、今年4月より改修工事始まる

八事霊園極楽苑墓地に於いて今年四月上旬より七月上旬にかけて苑内改修工事が行われます。おもな改修は

- ① 道路拡幅工事（駐車場設置）
- ② 道路舗装
- ③ 通路階段整備

期間中（原則日曜は休み）に墓参頂く皆様には何かとご不便をおかけしますが、ご理解の程お願い申し上げます。苑内「ぞう」のマーク付近に工事ご案内の看板が設置されますのでご覧下さい。

極楽苑会

二十二年組お待ち受け同朋大会

二〇二〇年六月十九日（土）

午後一時三十分～五時

大会会場

名古屋別院本堂

〔内容〕 帰敬式、法要と講演

講師 松野明美さん（元マラソンランナー）

参加費 二、〇〇〇円（帰敬式一万円）

懇親会

午後六時～八時

会場 ホテルグランコート名古屋（金山南口）

参加費 八、〇〇〇円

☆お申し込みは安楽寺までお願いします

締切 五月二十日（木）

# 別院での法話を終えて

坊守 吉田滋代



先日、東別院で初めてご法話をさせていただきますました。別院では、朝のお勤めの後十五分、午前十時半より一時間、午後一時から四十分程、毎月五日〜二十八日まで毎日ご法話があります。

早朝の法話は、もう初めてのことで、辺りが暗いので参詣の皆さんのお顔が全く見え、不安で何を話しているのか分からなくなってしまう。「穴があったら入りたい」とはこの事と、未熟さを痛感するばかり。それでも聞いてくださった方々に申し訳なご感謝の限りでした。

## 「私たちは皆、仏様から願われている身」

十時半からは、寺のご門徒の皆様が沢山いらしてくださいって、心強きにとても支えられました。蓮如上人の『人のわろき事は能く能くみゆるなり わが身の悪き事はおぼえざるものなり』のお言葉や、ご和讃『五濁悪時悪世界 濁悪邪見の衆生には 弥陀の名号与えてぞ 恒沙の諸仏すすめたる』(汚れきった世に生まれ、濁悪邪見の私には、お念仏しか救われる道はないのですよと、ガンジス川の砂の数ほどの仏様が勧めてくださっている)を拝読し、私たちは皆、仏様から願われている身であることをしみじみと感じました。

午後からは、仏典童話『けしの種』を朗読させていただきました。「死」は思い通りにならない、そして突然おとずれるもの、だからこそ「今」という時をどう生きてゆくのか、何に気づかなくてはいけないのか、自分自身に問いかける大切な時間をいただきました。私のつたない法話を、ウンウンと頷いてお聞きくださった皆さんお一人お一人に、手が合わされる思いの感謝ばかりの一日でした。本当にありがとうございます。

## 今年四月以降の法要日程

- 四月十三日(火) 定例法話 藤井 秀規師
  - 五月十三日(木) 春季永代経 椰野 明仁師
  - 六月十三日(日) 定例法話 荒山 修師
  - 七月十三日(火) 定例法話 八神 正信師
  - 八月 八日(日) 孟蘭盆会 住職
  - 九月十三日(月) 秋季永代経 別院駐在教導
  - 十月十三日(水) 定例法話 坊守
  - 十一月十二日(金) 十三日(土) 報恩講 荒山 修師
  - 十二月十三日(月) 定例法話 八神 正信師
- ◎始経は午前十時・午後一時半  
但し、八月は午前十時・午後一時  
十月は午前のみ  
十一月十二日は午後のみ
- ご参詣をお待ち致しております。

# 仏教豆知識

第二回



## 『八苦』

今回は、「八苦」についてですが、「四苦」に次の四つの苦しみを加えると「八苦」となります。

愛別離苦（あいべつりく）愛する者と別れる苦しみ

怨憎会苦（おんぞうえく）怨み憎む者に会う苦しみ

求不得苦（ぐふとくく）求めるものが得られない苦しみ

五陰盛苦（ごおんじょうく）五蘊（ごうん）から生ずる苦しみ

五蘊とは次のはたらきです。

色 形あるもの 身体および物質

受 心のはたらき 感受作用

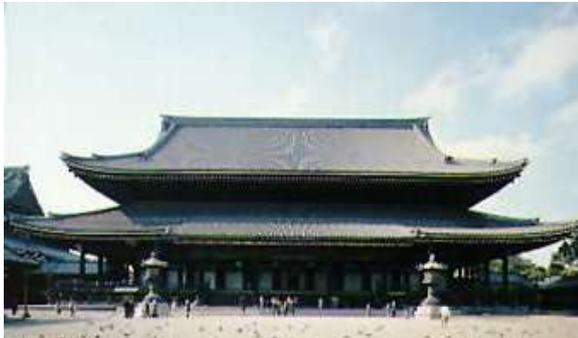
想 心に浮かぶ像 表象作用

行 意思や衝動的欲求のはたらき

識 認識する心のはたらき 識別作用

出家して苦しい修行をされたお釈迦様は、菩提樹の下でお覺りを開かれました。そして一緒に修行をしていた五人の比丘の前で初めて法を説かれました。これを『初転法輪』といいます。

「八苦」も覺者（仏陀）となられたお釈迦様の説かれた法のひとつです。自我に執着している私たちにとって、この八つの苦しみはどれも逃れることは出来ないものです。これらを拒んで滅するのではなく、与えられているものとして受け入れ、転ずるということが「救い」のカギになるのではないのでしょうか。



### 巻頭のことば

親鸞聖人の教えを戴くご門徒が、全国より本廟に参詣し涙ながらにご真影を敬い礼拝すると、悲しみが深まっています。

親鸞聖人の御遠忌法要まであと一年を切りました。今年六月、東別院で開催される二十二組のお待ち受けて同朋大会は、どなたでもご参加できます。ぜひお申し込み下さい。

私たちが日頃お勤めする正信偈をお書きになった聖人。その「おころと願い」を聞いていくことが私たちに求められています。

仏法は私たちの生活と離れてあるものではありません。日々の暮らしの中で、聖人のお言葉が味わえる生活を送りたいと思っております。